

DPC/PDPS等作業グループの分析 についての報告

第3回DPC/PDPS等作業グループの議題

- 第2回の意見等を踏まえた分析
 - ・ 医療資源投入量及び在院日数が外れた病院
 - ・ 病院ごとの転棟する症例の割合
 - ・ 特定の診断群分類の症例に対し診療を行っている病院
 - ・ 小児の症例が多い病院

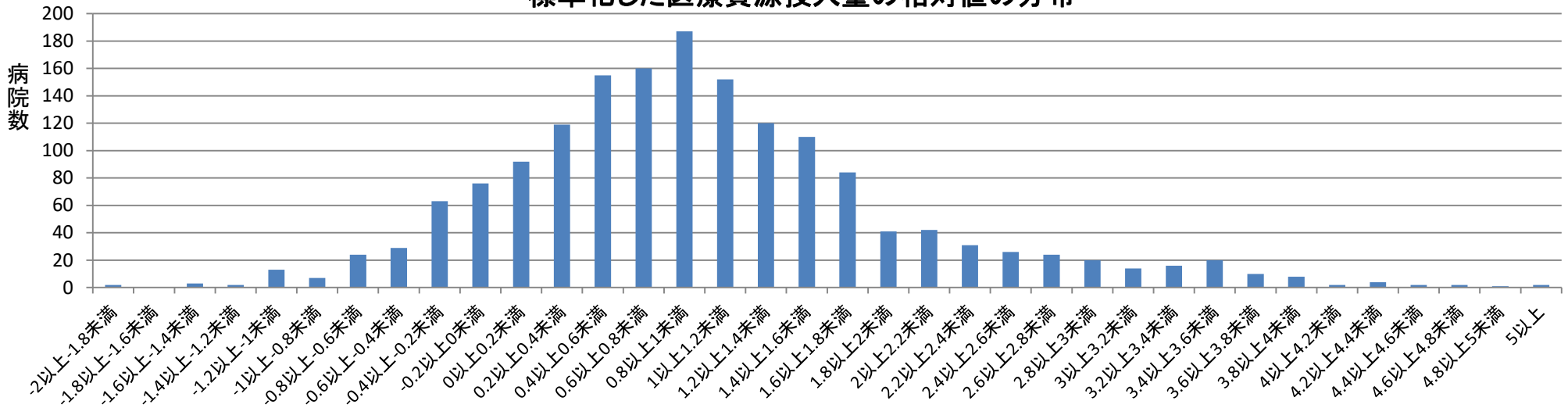
- 医療機関別係数のフォローアップ

- DPC退院患者調査における報告内容

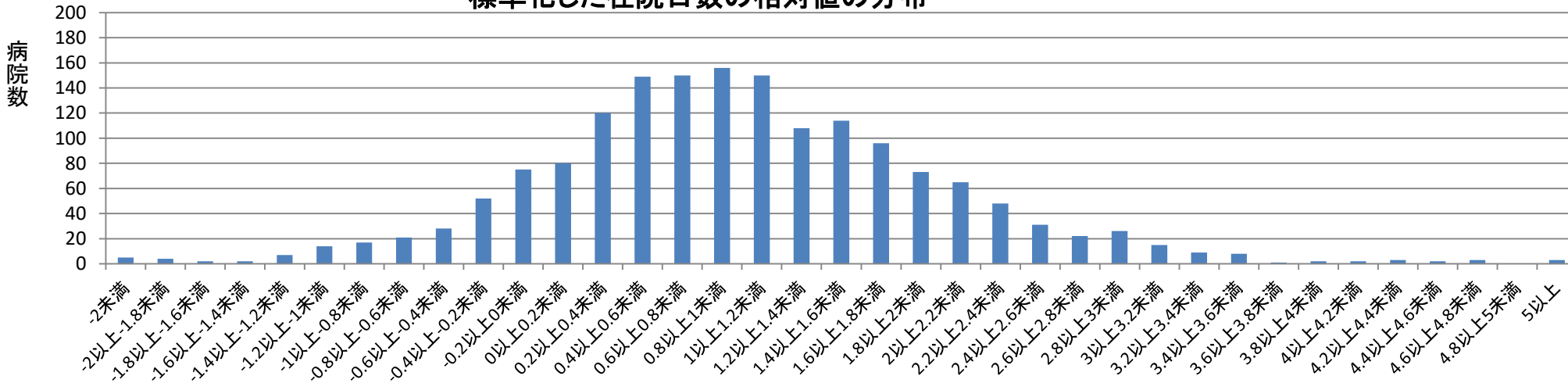
- ・医療資源投入量及び在院日数が
外れた病院

標準化した医療資源投入量と在院日数の分布

標準化した医療資源投入量の相対値の分布



標準化した在院日数の相対値の分布

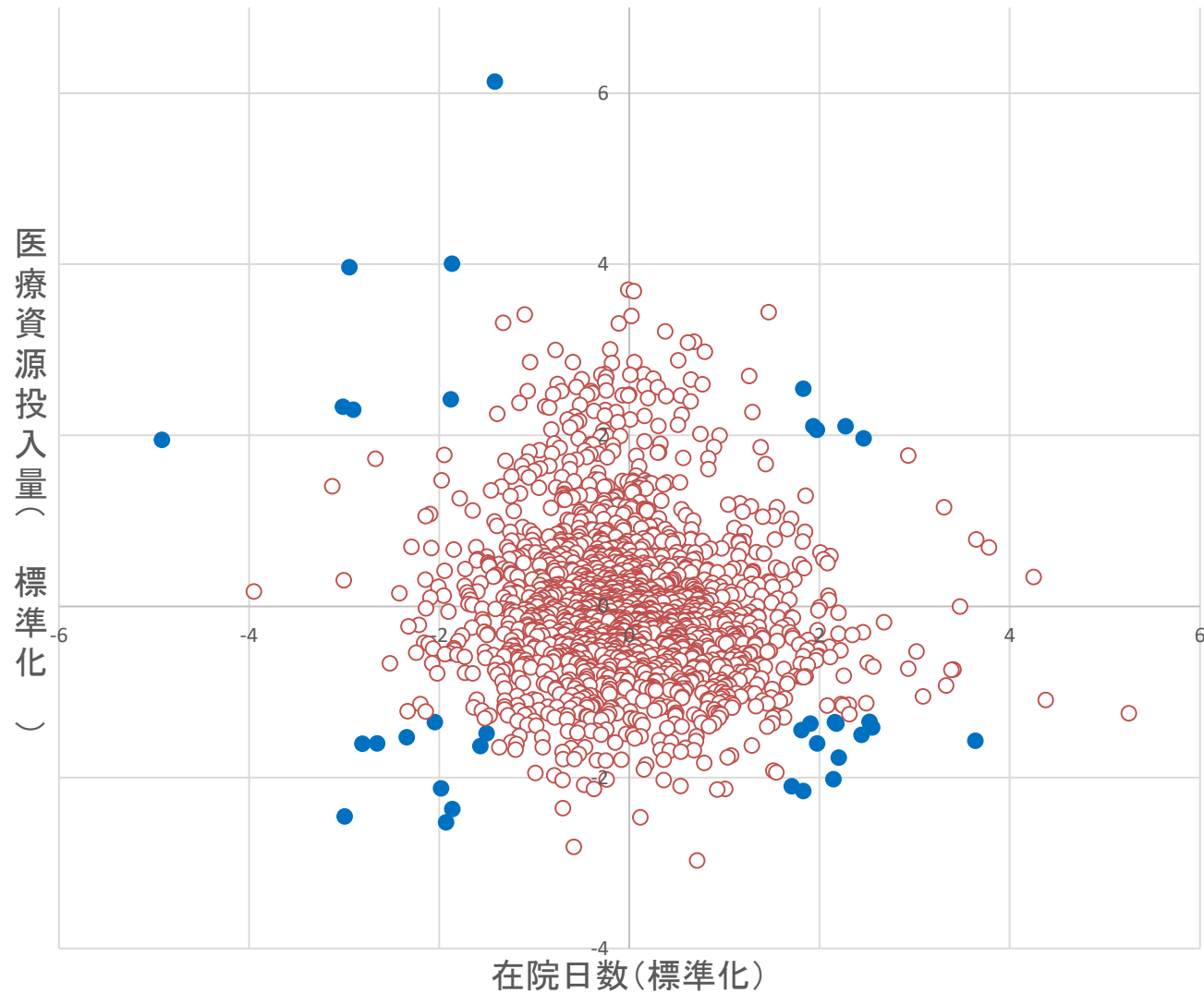


※ 医療資源投入量（1入院あたり）、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。

出典：H30年DPCデータ ※ 標準化：（実測値－平均値）/標準偏差

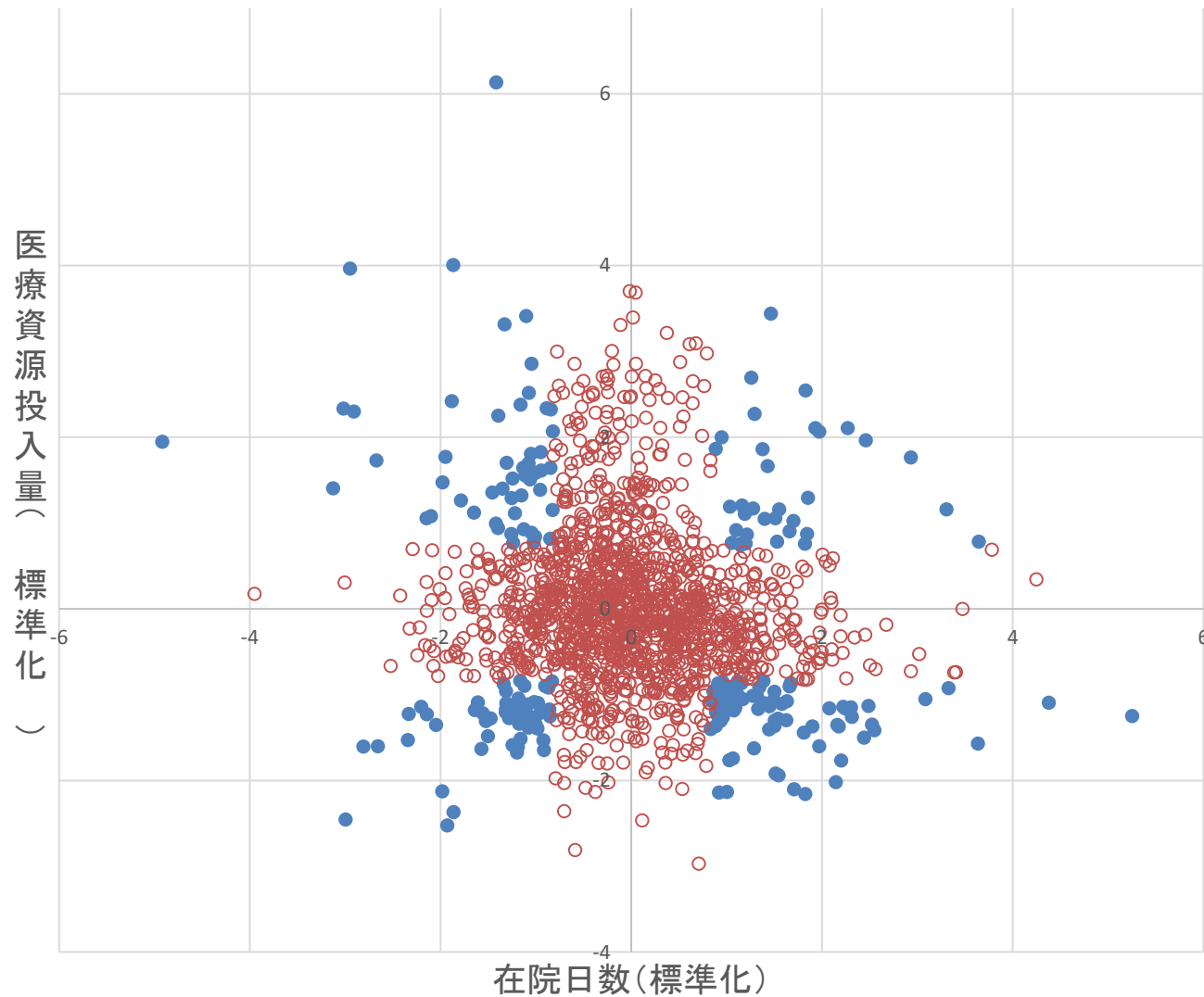
医療資源投入量及び在院日数が外れた病院

診療組 入2-2
元 . 7 . 2 5



- ※ 医療資源投入量（1入院あたり）、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。
- ※ 標準化：（実測値－平均値）/標準偏差
- ※ 青は、医療資源投入量、在院日数ともに値が上位（下位）100病院となる病院

医療資源投入量及び在院日数が外れた病院



※ 医療資源投入量（1入院あたり）、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。

※ 標準化：（実測値－平均値）/標準偏差

※ 青は、医療資源投入量、在院日数ともに値が上位（下位）300病院となる病院

- ・病院ごとの転棟する症例の割合

転棟に関する定義

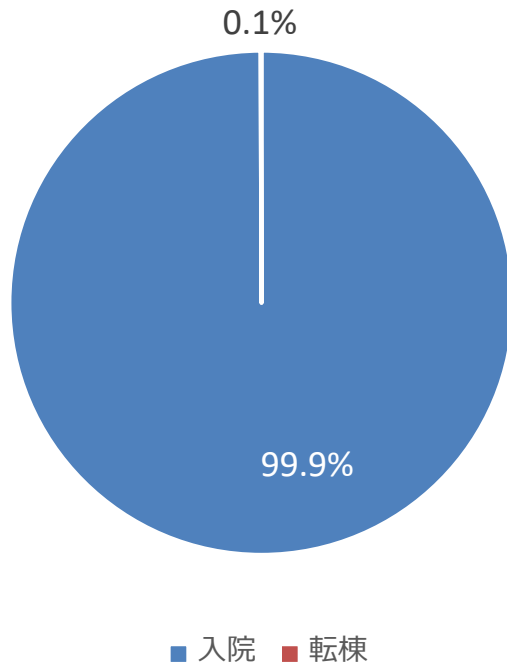
○ 本分析における転棟とは、一般病棟グループに入院した後、同一の病院のその他病棟グループへ継続して入院した場合のことをいう。

- 一般病棟グループ：以下の入院基本料、特定入院料等を算定する病棟（一部病床）をいう。
 - ・ 一般病棟入院基本料
 - ・ 特定機能病院入院基本料（一般）
 - ・ 専門病院入院基本料（7 対1、10 対1、13 対1）
 - ・ 救命救急入院料
 - ・ 特定集中治療室管理料
 - ・ ハイケアユニット入院医療管理料
 - ・ 脳卒中ケアユニット入院医療管理料
 - ・ 小児特定集中治療室管理料
 - ・ 新生児特定集中治療室管理料
 - ・ 総合周産期特定集中治療室管理料
 - ・ 新生児治療回復室入院医療管理料
 - ・ 一類感染症患者入院医療管理料
 - ・ 小児入院医療管理料
- その他病棟グループ：一般病棟や精神病棟に係る入院料を算定する病棟を除いた病棟をいう。
 - ・ 障害者施設等入院基本料
 - ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料
 - ・ 地域包括ケア病棟入院料（地域包括ケア入院医療管理料を含む）
 - ・ 結核病棟入院基本料
 - ・ 療養病棟入院基本料
 - ・ 特殊疾患入院医療管理料
 - ・ 認知症治療病棟入院料

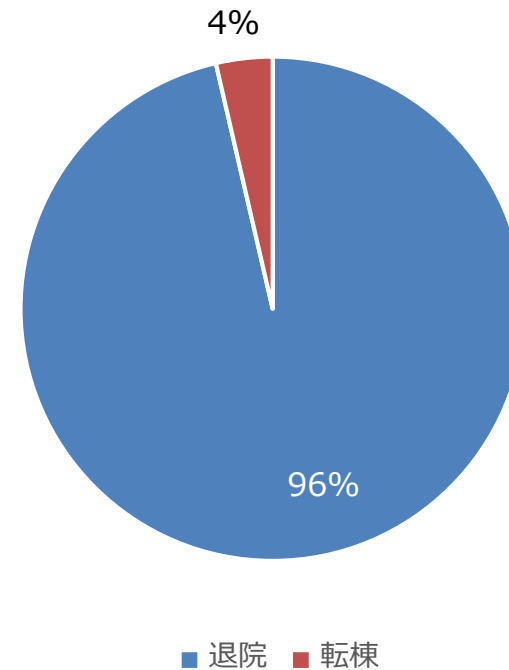
DPC対象病棟の入院患者の入退棟経路

診調組	入2-2
元 . 7 . 25	

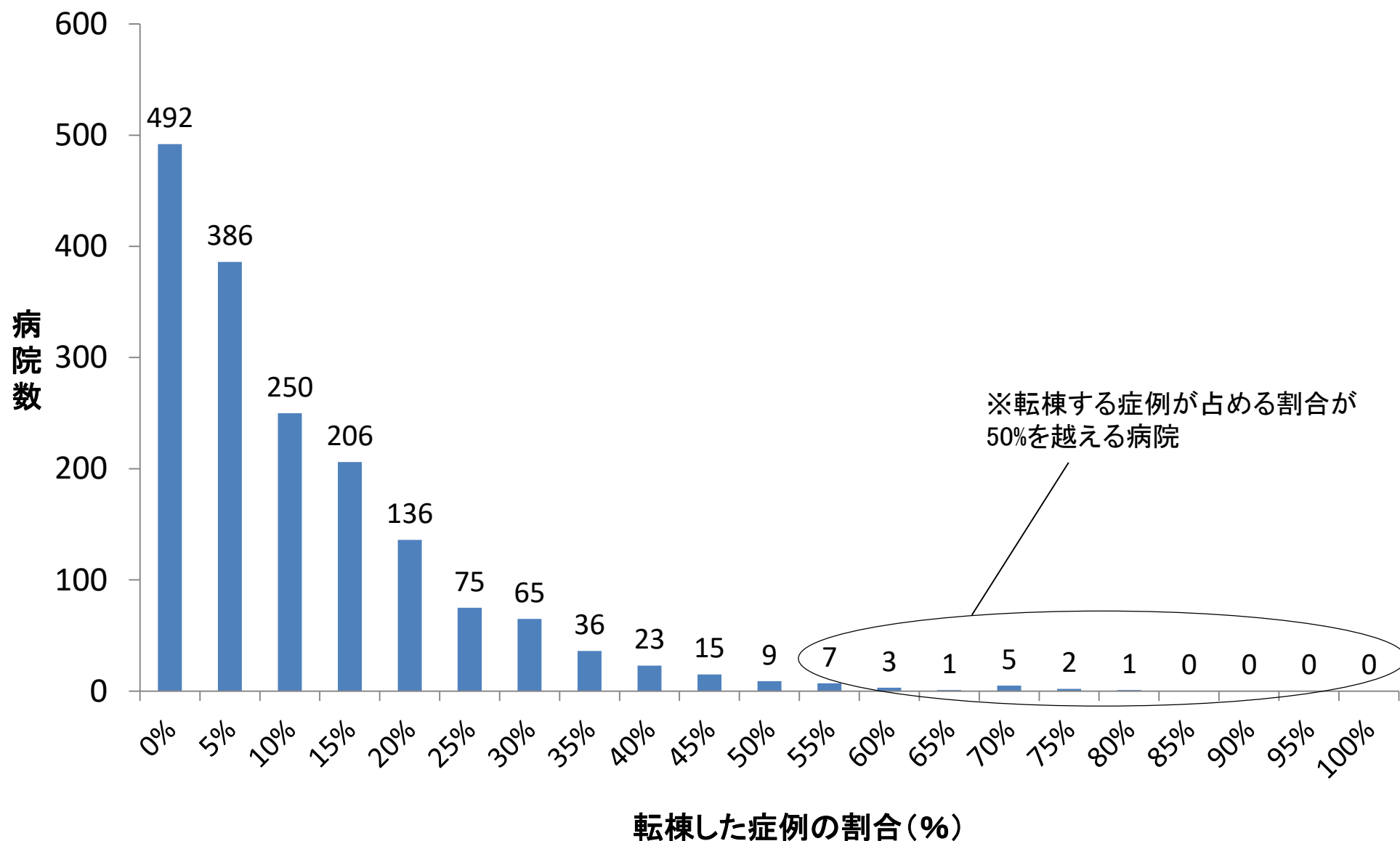
DPC対象病院の入院経路



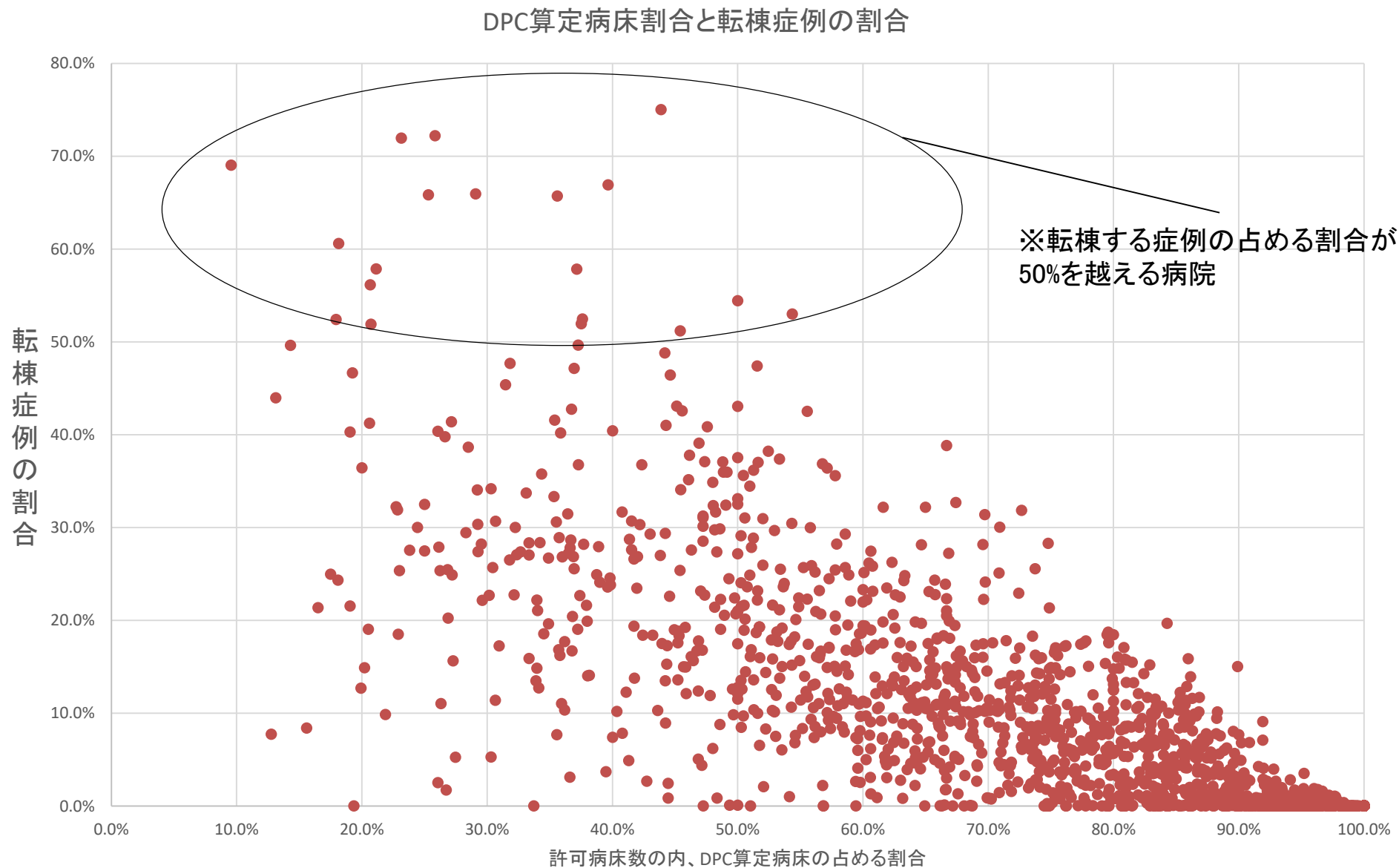
DPC対象病院の退出経路



病院ごとの転棟する症例の占める割合別の病院数

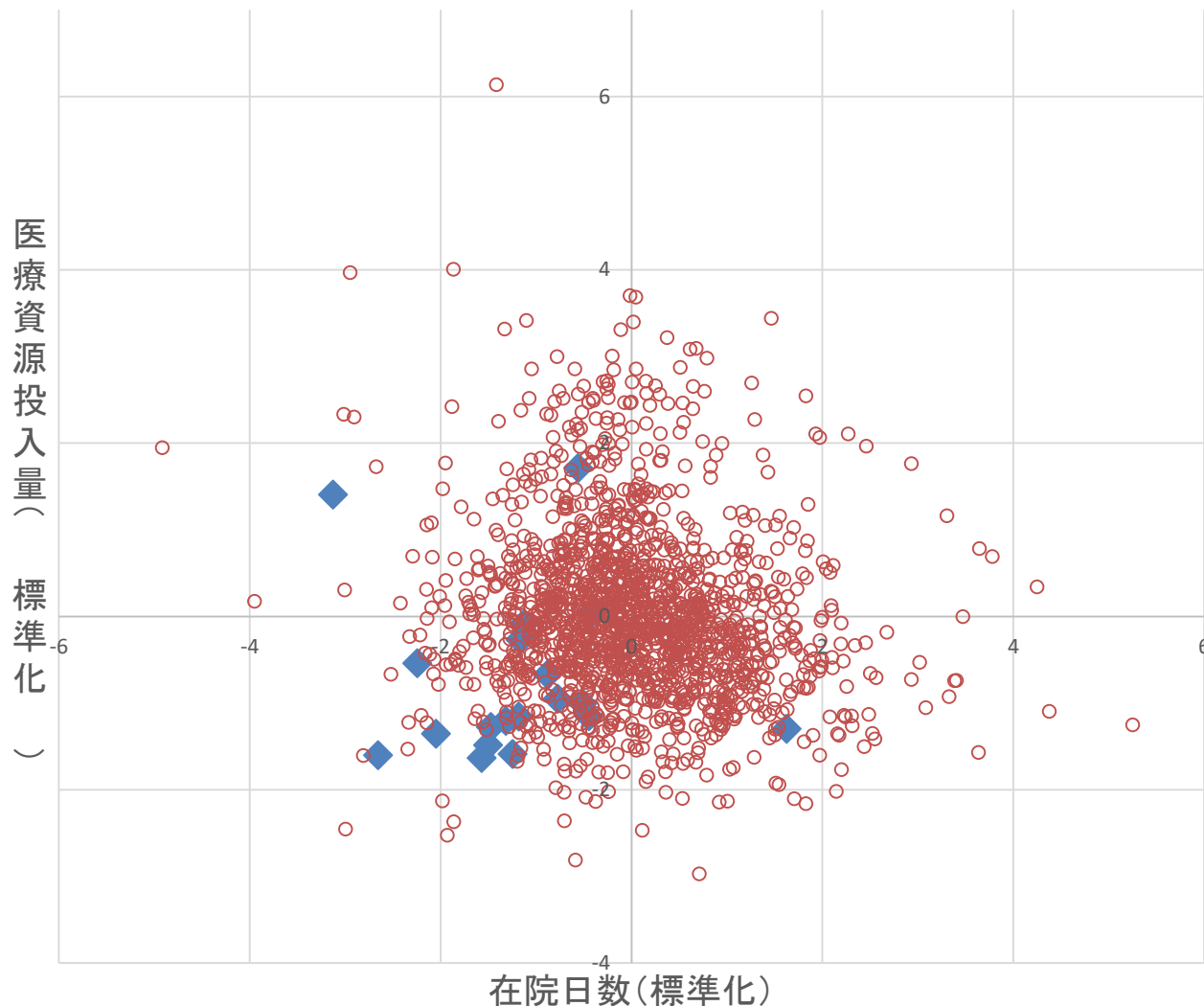


DPC対象病床の占める割合と転棟症例の割合の分布



医療資源投入量及び在院日数と転棟との関係

○ 転棟する症例が占める割合が50%を越える病院の多くは、医療資源投入量が少なく在院日数が短い群に分布している。



※ 医療資源投入量(1入院あたり)、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。

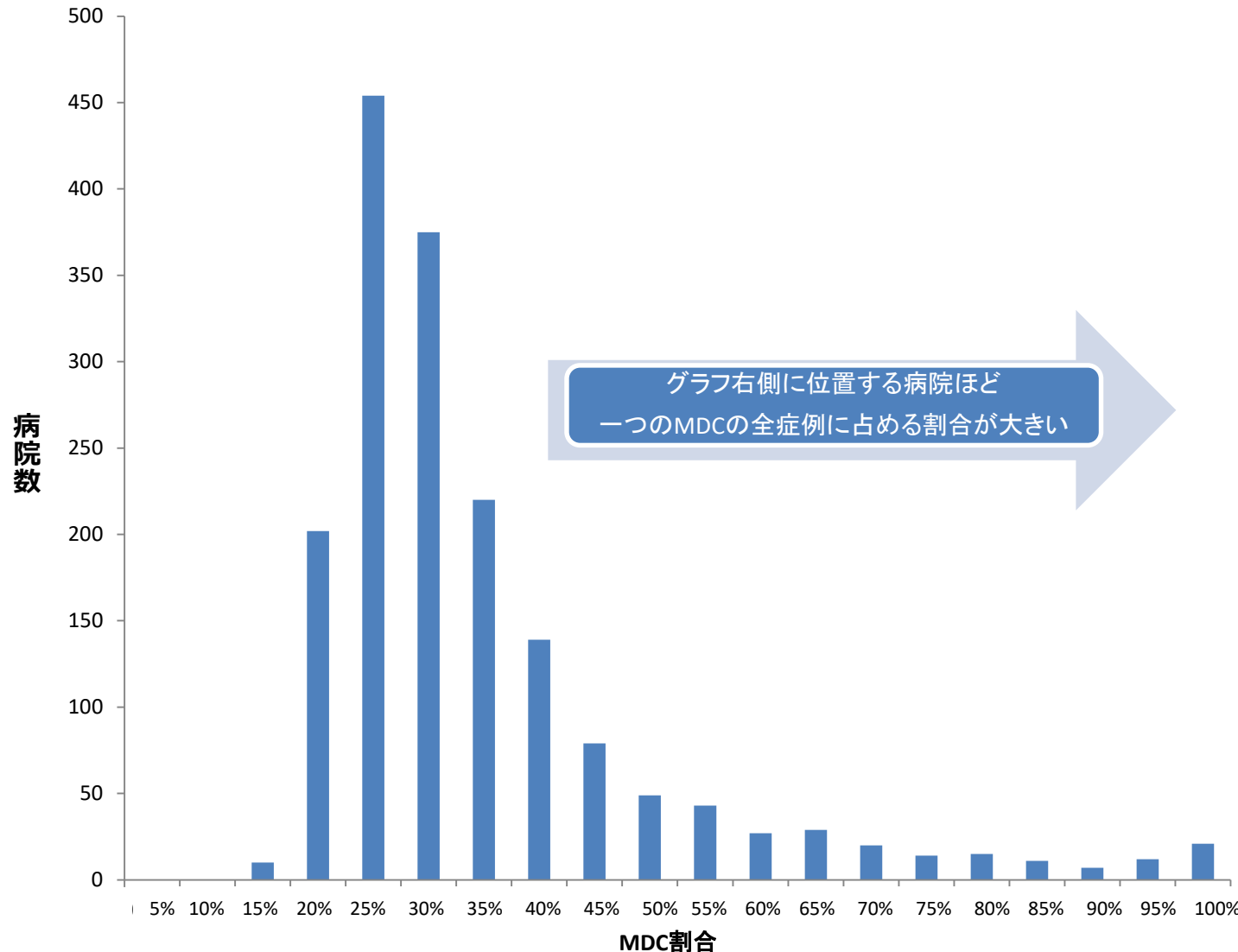
※ 標準化: (実測値 - 平均値) / 標準偏差

※ 青は、転棟する症例が50%を越える病院

- 特定の診断群分類の症例に対し
診療を行っている病院

最も多いMDCの占める割合別の病院数

診療組 入2-2
元 7 2 5

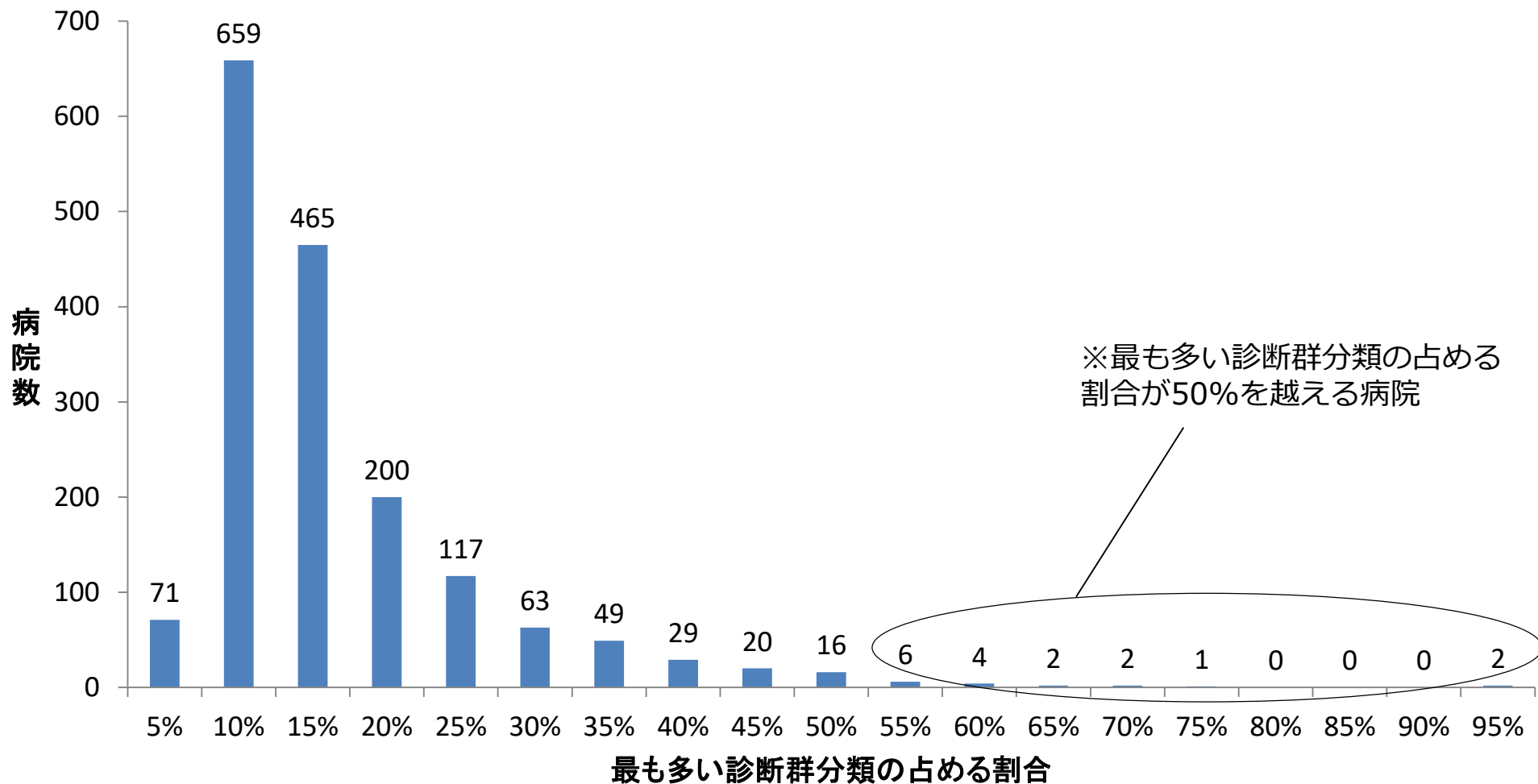


MDC	名称
01	神経系疾患
02	眼科系疾患
03	耳鼻咽喉科疾患
04	呼吸器系疾患
05	消化器系疾患
07	筋骨格系疾患
08	皮膚の疾患
09	乳房の疾患
10	内分泌等に関する疾患
11	腎・泌尿器系疾患など
12	女性生殖器疾患及び周産期疾患等
14	新生児疾患等
15	小児疾患
16	外傷・熱傷・中毒
17	精神疾患
18	その他の疾患

出典：H30年DPCデータ

※MDC:Major Diagnostic Categoriesの略。DPC14桁の上2桁。
※病院ごとに最も多いMDCの割合が、全症例に占める割合を算出

最も多い診断群分類の占める割合別の病院数

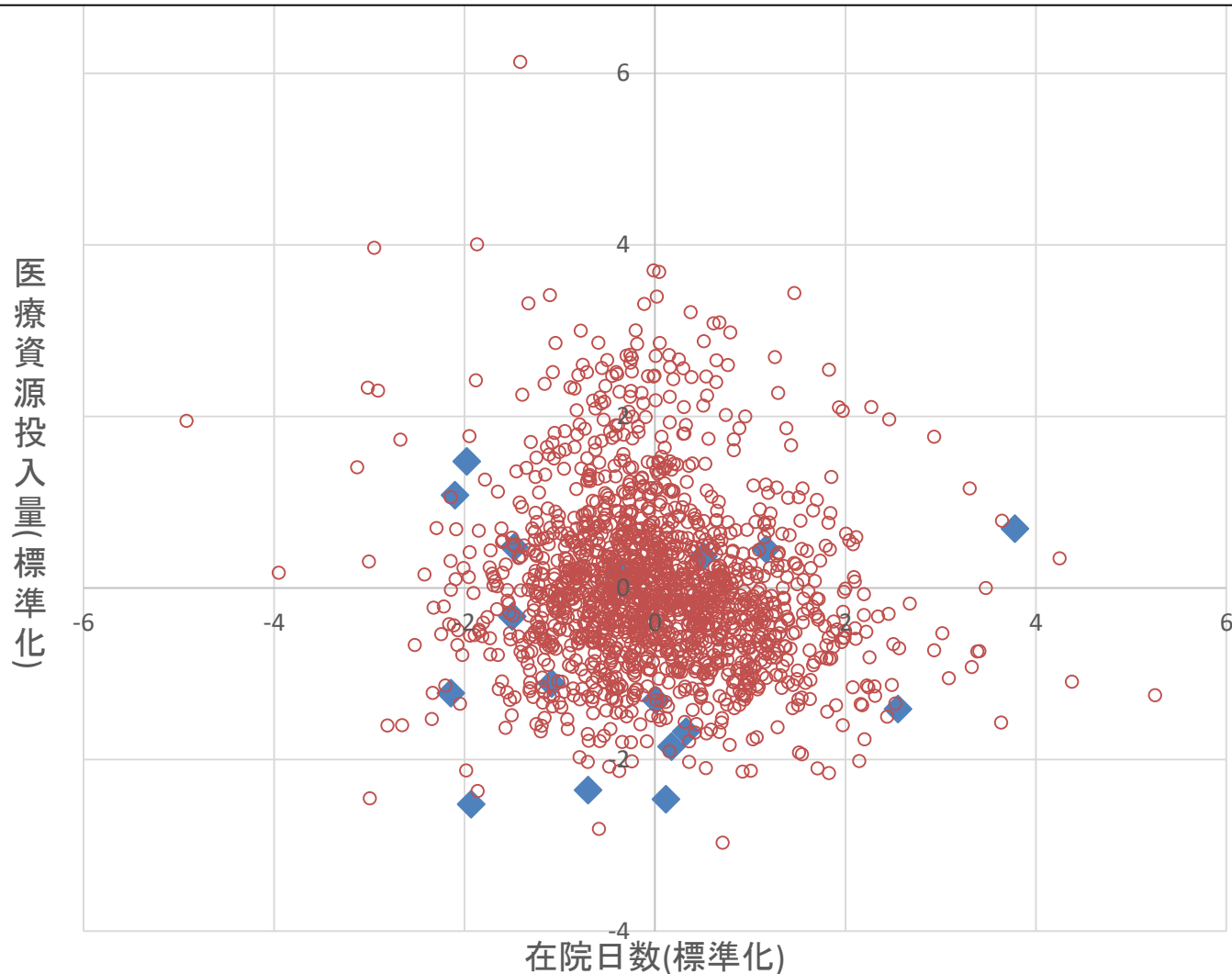


※診断群分類：主要診断群(MDC) 2桁に加え、傷病の細分類 4桁を加えた 6桁のコード(全505種類)

※病院ごとに最も多い診断群分類の割合が、全症例に占める割合を算出

医療資源投入及び在院日数と最も多い診断群分類の占める割合の関係

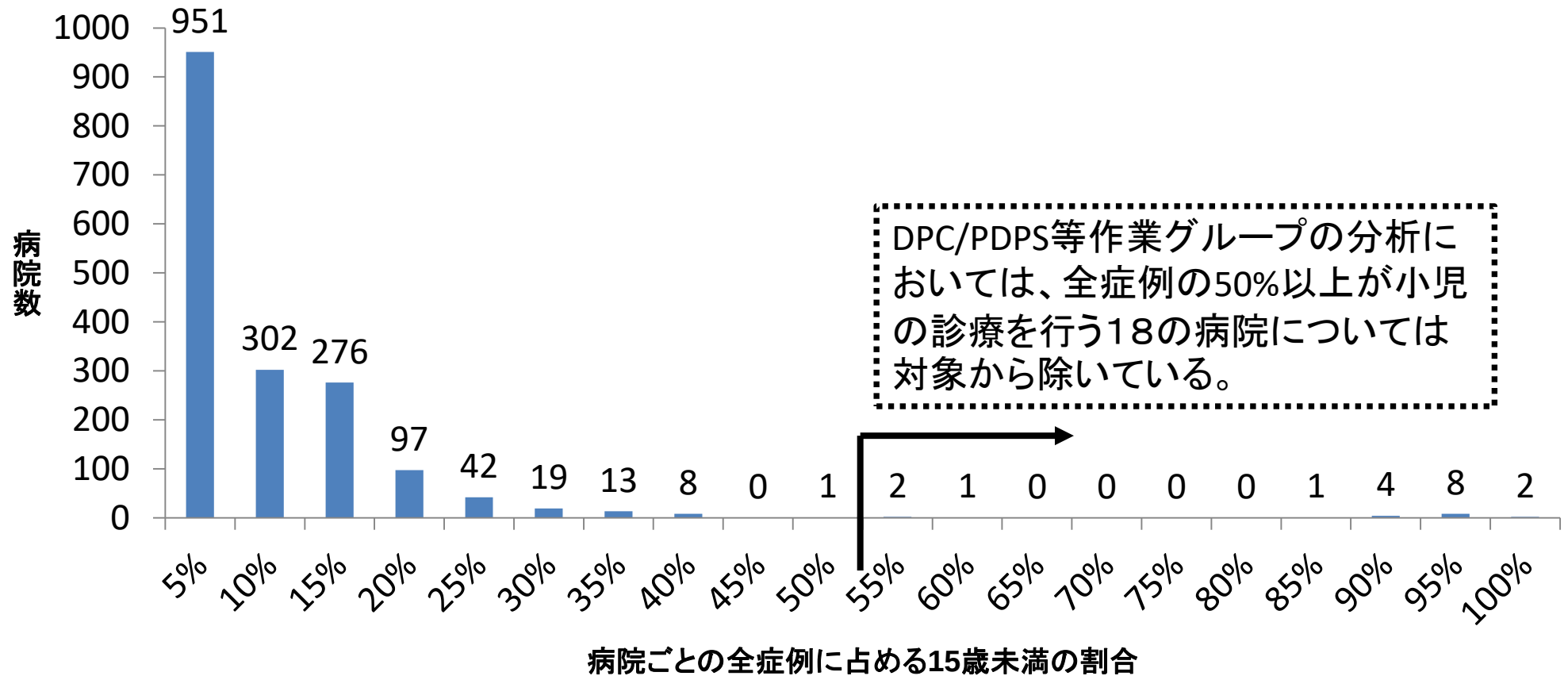
○ 特定の診断群分類の症例に対し診療を行っている病院について、医療資源投入量及び在院日数との明らかな相関は認められなかった。



- ※ 医療資源投入量（1入院あたり）、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。
- ※ 標準化：（実測値－平均値）/標準偏差
- ※ 青は、転棟する症例が50%を越える病院

小児の症例が多い病院について

診調組 入2-2
元 7 2 5

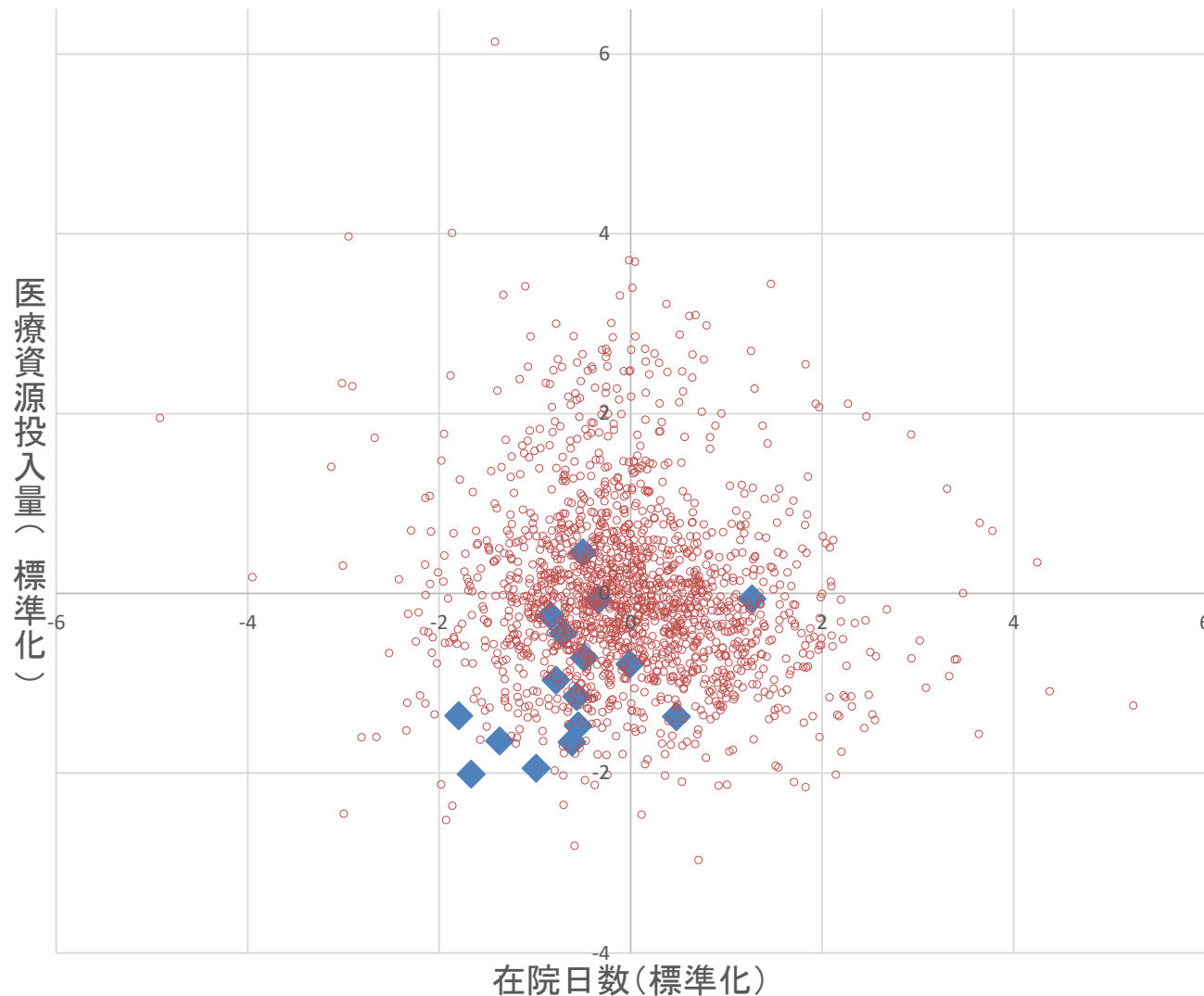


※15歳未満の割合

= 当該病院のDPC対象病棟に入院する15歳未満の症例数
/ DPC対象病棟に入院する全症例数

医療資源投入及び在院日数と小児の症例の割合の関係

○ 小児の症例が全症例の50%を越える病院の多くは、医療資源投入料が少なく、在院日数が短い群に分布している。



- ※ 医療資源投入量（1入院あたり）、在院日数について、病院ごとの疾病構成を補正し、さらに標準化している。
- ※ 標準化：（実測値－平均値）/標準偏差
- ※ 青は、全症例の50%以上が小児の診療を行う病院

第3回DPC/PDPS等作業グループの意見を踏まえた、今後の分析の方向性

○ 以下の方針で今後DPC/PDPS等作業グループにおいて分析・検討を進めることとしてはどうか。

- DPC対象病院の要件について検討する上で、医療資源投入量、在院日数、DPC算定対象病床数/割合、転棟症例の割合を組み合わせた分析に加え、各病院における個別症例の特徴に着目した分析を実施する。
- 最も多い診断群分類については、医療資源投入量や在院日数との明らかな関係がみられないため、今後の分析に用いることは慎重に検討する必要がある。
- 現在、小児の診療を50%以上行う病院については分析の対象外としているが、今後DPC対象病院の要件を検討する上で、小児の診療を主に行う病院の基準については引き続き検討する。

医療機関別係数のフォローアップについて

機能評価係数Ⅱの評価内容④（見直し後・地域医療係数）

評価項目	DPC標準病院群	大学病院本院群	DPC特定病院群
災害	・ BCPの策定実績有無別（平成31年以降の評価導入を検討）災害拠点病院の指定（0.5P） ・ DMATの指定（0.25P） ・ EMISへの参加（0.25P）		
周産期	「総合周産期母子医療センターの指定」、「地域周産期母子医療センターの指定」を評価（いずれかで1P）	・ 「総合周産期母子医療センターの指定」を重点的に評価（1P） ・ 「地域周産期母子医療センターの指定」は0.5P	
救急	二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、共同利用型の施設又は救命救急センターを評価(0.1P)	救命救急センター（0.5P） 二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、共同利用型の施設（0.1P）	
	上記体制を前提とし、救急車で来院し、入院となった患者数（最大0.9P）	上記体制を前提とし、救急車で来院し、入院となった患者数（救急医療入院に限る）（最大0.5P）	
その他	右記のいずれか1項目を満たした場合 1 P	①治験等の実施 ・ 10例以上の医師主導治験の実施、10例以上の先進医療の実施、及び 1 例以上の患者申出療養に係る意見書の作成（1P） ・ 20例以上の治験（※）の実施、10例以上の先進医療の実施または10例以上の患者申出療養の実施(0.5P）（※）協力施設としての治験の実施を含む。 ②新型インフルエンザ等対策 ・ 新型インフルエンザ等対策行動計画に係る医療機関（平成31年以降の評価導入を検討）	

機能評価係数のフォローアップ①

「治験等の実施」について

（現状）

- 機能評価係数Ⅱの一つである地域医療係数において、高度・先進的な医療の提供として医師主導試験治療の実施、先進医療の実施、患者申し出療養の実施等を評価している。
- 地域医療係数の評価項目の一つである「10例以上の医師主導治験の実施、10例以上の先進医療の実施、及び1例以上の患者申出療養に係る意見書の作成」について、該当する病院は令和元年4月時点で、2病院のみ。

（見直しの方向性）

- 臨床研究中核病院では、医師主導治験及び臨床研究の実施件数によるが評価されており、これを参考とし評価項目を見直してはどうか。

参考）臨床研究中核病院の承認要件（平成30年6月22日「医療法の一部改正（臨床研究中核病院関係）の施行等について」）

第2承認手続等

(1) 次の①又は②のいずれかに該当すること

① 省令第6条の5の3第1号に該当する特定臨床研究（以下「治験」という。）を主導的に実施した実績が4件以上あること

② 次のア及びイのいずれにも該当すること

ア 治験を主導的に実施した実績が1件以上であること

イ 次の i) 及び ii) に掲げる臨床研究を主導的に実施した実績が合計80件以上であること

i) 平成30年3月31日までに開始した臨床研究にあつては、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）に規定する侵襲及び介入を伴う臨床研究であつて、医薬品、医療機器又は再生医療等製品を用いたもの

ii) 平成30年4月1日以降に開始した臨床研究にあつては、臨床研究法（平成29年法律第16号）第2条第1項に規定する臨床研究

機能評価係数Ⅱの評価内容④（見直し後・地域医療係数）

評価項目	DPC標準病院群	大学病院本院群	DPC特定病院群
災害	・ BCPの策定実績有無別（平成31年以降の評価導入を検討）災害拠点病院の指定（0.5P） ・ DMATの指定（0.25P） ・ EMISへの参加（0.25P）		
周産期	「総合周産期母子医療センターの指定」、「地域周産期母子医療センターの指定」を評価（いずれかで1P）	・ 「総合周産期母子医療センターの指定」を重点的に評価（1P） ・ 「地域周産期母子医療センターの指定」は0.5P	
救急	二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、共同利用型の施設又は救命救急センターを評価(0.1P)	救命救急センター（0.5P） 二次救急医療機関であって病院群輪番制への参加施設、共同利用型の施設（0.1P）	
	上記体制を前提とし、救急車で来院し、入院となった患者数（最大0.9P）	上記体制を前提とし、救急車で来院し、入院となった患者数（救急医療入院に限る）（最大0.5P）	
その他	右記のいずれか1項目を満たした場合 1 P	①治験等の実施 ・ 10例以上の医師主導治験の実施、10例以上の先進医療の実施、及び 1 例以上の患者申出療養に係る意見書の作成（1P） ・ 20例以上の治験（※）の実施、10例以上の先進医療の実施または10例以上の患者申出療養の実施(0.5P）（※）協力施設としての治験の実施を含む。 ②新型インフルエンザ等対策 ・ 新型インフルエンザ等対策行動計画に係る医療機関（平成31年以降の評価導入を検討）	

「新型インフルエンザ等対策」について

（現状）

- 新型インフルエンザ等の発生時に必要な医療を提供する体制を整備する病院について、平成26年診療報酬改定から、機能評価係数Ⅱで評価することとしている。
- 現状では、新型インフルエンザ等対策に係る地方公共機関の指定を法人単位で受ける場合がある等、個別の病院の指定の状況について把握が困難な場合があったため、機能評価係数での評価は行っていなかった。

（見直しの方向性）

- 令和元年度から、新型インフルエンザ等対策政府行動計画を踏まえ、新型インフルエンザ等協力医療機関について、厚生労働省のホームページにおいて公開され、評価の対象となる病院が明確となったことから、令和2年度からは機能評価係数Ⅱにおいて評価を行うこととしてはどうか。

医療機関別係数のフォローアップ: 激変緩和係数

- 平成30年度診療報酬改定時には、診療報酬改定のある年度のみ激変緩和係数を設定し、推計診療報酬変動率は、 $\pm 2\%$ までとする対応を行ったところ。
- 平均的な診療実態から外れる病院の令和2年度診療報酬の対応については、引き続き検討することとした。
- 診療報酬改定における報酬の変動については、病院の個別の要因を特定することは困難と考えられるため、令和2年度診療報酬改定においても一定の激変緩和が必要ではないか。

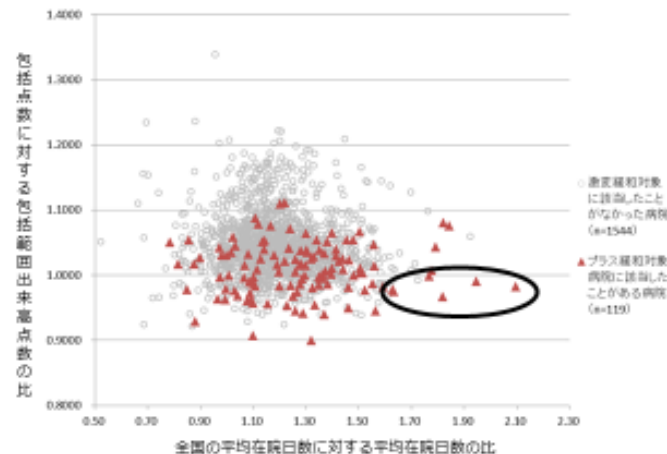
参考) 平成29年11月29日診調組

調整係数置換え完了に係る対応

診調組 参考(改)
29.11.29

激変緩和措置の具体的な方法

- ・ 診療報酬改定のある年度のみ激変緩和係数を設定（推計診療報酬変動 $\pm 2\%$ まで）
 - ・ 新たにDPC/PDPSに参加する医療機関のマイナス緩和は、所属医療機関群の平均値を用いる。
- 平均的な診療実態から外れる医療機関
- ・ 平成30年度診療報酬改定以降も取扱いについて検討する。



DPC退院患者調査における報告内容 について

公開データの集計方法①

○回復期リハビリテーション病棟、療養病棟のデータの公開について、FIM、要介護度の集計を公開データに追加してはどうか。

○下記の集計では、入院症例の背景等による違いを加味することが難しいため、一定の解釈ができるよう、他の指標も合わせて公開してはどうか。

例：回復期リハビリテーション病棟入院料や療養病棟入院基本料を届け出る病棟数
当該病院における転棟症例の割合と手術ありの症例の割合

・ F I M

告示番号	施設名	入棟から退棟までの 平均日数	入棟時						退棟時					
			運動項目			認知項目			運動項目			認知項目		
			13~26点	27~52点	53~91点	5~10点	11~20点	21~35点	13~26点	27~52点	53~91点	5~10点	11~20点	21~35点
0000	〇〇	〇日	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%

・ 要介護度

告示番号	施設名	要介護度									
		0.無し	1.要支援1	2.要支援2	3.要介護1	4.要介護2	5.要介護3	6.要介護4	7.要介護5	8.申請中	9.不明
0000	〇〇	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%	〇%

公開データの集計方法②

- 現在、公開データは、一般病棟のみの集計の他、その他病棟への入院を含むデータを除外せずに集計対象としている。
- その他病棟に含まれる、地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟におけるデータ提出の範囲が拡大していることを踏まえ、その他病棟のなかでも地域包括ケア病棟のみに入院していた症例等、各病棟のみで入院した症例について集計することについてどう考えるか。

告示番号	通番	施設名	平成28年度								平成29年度							
			件数	平均値	変動係数	最小値	パーセンタイル			最大値	件数	平均値	変動係数	最小値	パーセンタイル			最大値
							25	50	75						25	50	75	
1	10001	札幌医科大学付属病院	14,211	14.72	1.16	1	5.00	9.00	18.00	304	14,880	13.95	1.17	1	4.00	9.00	17.00	271
2	10002	北海道大学病院	13,864	15.41	1.15	1	5.00	10.00	19.00	344	14,167	15.11	1.13	1	5.00	10.00	19.00	247
3	10003	旭川医科大学病院	12,188	12.87	1.16	1	4.00	8.00	15.00	256	12,291	12.58	1.18	1	4.00	8.00	15.00	258
4	10004	弘前大学医学部附属病院	10,159	14.52	1.22	1	4.00	9.00	18.00	235	10,426	14.05	1.21	1	4.00	9.00	17.00	302
5	10005	岩手医科大学付属病院	19,260	13.21	1.27	1	3.00	8.00	16.00	319	19,789	12.74	1.26	1	3.00	8.00	15.00	281
6	10006	東北医科薬科大学病院	8,364	12.74	1.25	2	3.00	8.00	15.00	309	9,122	12.52	1.16	1	4.00	8.00	15.00	271
7	10007	東北大学病院	17,877	15.89	1.27	1	4.00	10.00	18.00	294	18,794	14.70	1.23	1	4.00	9.00	17.00	298
8	10008	秋田大学医学部附属病院	9,270	15.17	1.23	1	4.00	9.00	18.00	257	9,512	14.72	1.29	1	4.00	9.00	17.00	349
9	10009	国立大学法人山形大学医学部附属病院	10,942	14.11	1.21	1	4.00	9.00	16.00	255	11,323	14.09	1.18	1	4.00	9.00	17.00	248
10	10010	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	13,526	12.94	1.20	1	4.00	8.00	16.00	294	14,233	12.26	1.20	1	4.00	8.00	15.00	279
11	10011	筑波大学附属病院	15,794	12.77	1.24	1	4.00	8.00	15.00	233	16,608	12.19	1.24	1	4.00	8.00	14.00	266
12	10012	自治医科大学付属病院	20,279	13.13	1.20	1	4.00	8.00	16.00	283	20,593	13.26	1.23	1	4.00	8.00	15.00	349
13	10013	獨協医科大学病院	21,328	13.91	1.20	1	4.00	9.00	17.00	267	22,099	14.06	1.17	1	5.00	9.00	17.00	293
14	10014	国立大学法人群馬大学医学部附属病院	11,885	14.13	1.29	1	4.00	8.00	16.00	258	12,132	13.71	1.26	1	4.00	8.00	16.00	302
15	10015	埼玉医科大学病院	16,093	13.55	1.33	1	4.00	8.00	15.00	276	16,308	13.22	1.30	1	4.00	8.00	15.00	313
16	10016	防衛医科大学校病院	10,103	13.44	1.17	1	4.00	9.00	16.00	324	10,442	12.98	1.15	1	4.00	8.00	15.00	225
17	10017	国立大学法人千葉大学医学部附属病院	16,645	12.03	1.27	1	3.00	7.00	14.00	268	17,121	12.22	1.24	1	3.00	8.00	14.00	296
18	10018	東京慈恵会医科大学付属病院	22,662	10.87	1.34	1	3.00	6.00	12.00	253	22,547	11.19	1.44	1	3.00	6.00	12.00	323
19	10019	東京医科大学病院	22,151	11.97	1.23	1	4.00	7.00	14.00	238	23,019	11.89	1.24	1	3.00	7.00	13.00	323
20	10020	東京女子医科大学病院	21,198	12.80	1.23	1	4.00	8.00	15.00	295	22,792	12.09	1.24	1	3.00	8.00	14.00	290
21	10021	慶應義塾大学病院	21,417	10.83	1.22	1	4.00	7.00	13.00	283	21,767	10.48	1.22	1	4.00	7.00	12.00	250
22	10022	日本医科大学付属病院	17,884	12.61	1.18	1	4.00	8.00	15.00	217	18,452	12.37	1.19	1	4.00	8.00	15.00	314
23	10023	順天堂大学医学部附属順天堂医院	24,403	11.94	1.28	1	4.00	7.00	14.00	265	25,638	11.54	1.24	1	4.00	7.00	13.00	215
24	10024	昭和大学病院	17,039	12.08	1.27	1	3.00	8.00	14.00	263	17,676	11.54	1.24	1	3.00	7.00	13.00	265
25	10025	東邦大学医療センター大森病院	19,900	12.22	1.22	1	4.00	7.00	14.00	231	19,997	11.81	1.23	1	4.00	7.00	14.00	287
26	10026	日本大学医学部附属板橋病院	18,498	14.10	1.21	1	4.00	9.00	17.00	302	19,057	13.55	1.26	1	4.00	8.00	16.00	303
27	10027	帝京大学医学部附属病院	18,247	12.78	1.28	1	3.00	7.00	15.00	232	18,901	13.09	1.29	1	3.00	7.00	15.00	255
28	10028	杏林大学医学部付属病院	21,591	12.16	1.23	1	4.00	8.00	14.00	210	22,064	11.75	1.25	1	4.00	7.00	13.00	286
29	10029	東京医科歯科大学医学部附属病院	16,810	11.67	1.22	1	3.00	7.00	14.00	232	17,104	11.63	1.22	1	3.00	7.00	14.00	211
30	10030	東京大学医学部附属病院	23,657	12.85	1.14	1	4.00	8.00	15.00	231	22,631	12.37	1.16	1	4.00	8.00	15.00	262
31	10031	公立大学法人横浜市立大学附属病院	11,890	13.50	1.15	1	5.00	9.00	16.00	230	12,772	12.60	1.16	1	4.00	8.00	15.00	202
32	10032	北里大学病院	22,880	12.06	1.26	1	4.00	7.00	14.00	307	23,464	11.77	1.29	1	3.00	7.00	13.00	339
33	10033	東海大学医学部付属病院	19,723	11.70	1.37	1	3.00	7.00	13.00	281	19,299	11.90	1.39	1	3.00	7.00	14.00	358
34	10034	聖マリアンナ医科大学病院	20,094	12.42	1.31	1	3.00	7.00	14.00	263	20,354	12.28	1.34	1	3.00	7.00	14.00	259
35	10035	新潟大学医学部総合病院	12,549	15.07	1.28	1	5.00	9.00	17.00	322	12,581	14.59	1.23	1	5.00	9.00	17.00	281
36	10036	国立大学法人富山大学附属病院	9,673	14.39	1.27	1	4.00	8.00	17.00	232	10,269	13.83	1.26	1	4.00	8.00	16.00	319
37	10037	金沢医科大学病院	11,963	15.10	1.29	1	3.00	9.00	18.00	269	12,062	14.12	1.28	1	3.00	8.00	17.00	247
38	10038	国立大学法人金沢大学附属病院	12,213	16.16	1.19	1	5.00	10.00	19.00	267	12,646	15.70	1.18	1	5.00	10.00	19.00	325
39	10039	福井大学医学部附属病院	11,257	13.79	1.18	1	4.00	9.00	17.00	293	12,047	13.11	1.12	1	4.00	9.00	16.00	216
40	10040	山梨大学医学部附属病院	10,478	13.94	1.16	1	5.00	9.00	16.00	308	11,184	13.48	1.16	1	5.00	9.00	15.00	225
41	10041	国立大学法人信州大学医学部附属病院	13,208	12.97	1.20	1	4.00	8.00	16.00	208	13,407	12.89	1.18	1	4.00	8.00	15.00	212
42	10042	国立大学法人岐阜大学医学部附属病院	12,734	14.93	1.22	1	3.00	8.00	15.00	203	12,887	11.90	1.23	1	3.00	8.00	14.00	276
43	10043	浜松医科大学医学部附属病院	11,471	12.77	1.23	1	4.00	8.00	15.00	224	12,185	12.38	1.25	1	4.00	8.00	15.00	251
44	10044	名古屋大学病院	15,291	12.91	1.23	1	4.00	8.00	16.00	343	16,135	12.41	1.18	1	4.00	8.00	15.00	290
45	10045	藤田保健衛生大学病院	24,906	14.58	1.20	1	4.00	9.00	18.00	326	25,347	14.44	1.20	1	4.00	9.00	17.00	312

一般病棟の入院症例に限り集計している。

その他病棟の入院症例も含めて、集計している。